

## 令和5年度 学校経営計画書

学校番号	51	学校名	静岡県立島田商業高等学校（全日制）	校長名	増田 章江
------	----	-----	-------------------	-----	-------

### 1 スクール・ミッション

志太・榛原地区の商業教育の拠点校として、身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジする教育活動を通して、地域社会で活躍できる生徒の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>商業の専門高校として「身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジすることで、地域社会で活躍する生徒」を育成します。</p> <p>(1) ビジネスマナーを習得し、社会のルールや人との約束を守る規律性、他者と円滑な人間関係を築き、課題解決に向けて協調して取り組むことができるコミュニケーション能力を育成します。</p> <p>(2) 商業に関する専門性を深め、身に付けた知識・技術を活用しながら、それを地域や社会に応用・実践できる能力と態度を育成します。</p> <p>(3) より良い地域社会の構築を目指して主体的に学び、部活動、特別活動、商業教育、キャリア教育を通して豊かな人間性を育成します。</p>	<p>基礎学力の定着を図るとともに、専門教科の協働的で実践的な学びを通して、これからのビジネス社会に必要な力を育成します。</p> <p>(1) 基礎学力の定着を図り、商業の専門性を進化させ、生徒の適正・特性に応じた進路実現に応じた教育課程を実現します。</p> <p>(2) 地域の産業界や各機関と連携し、体験的・実践的な学習活動を実施します。</p> <p>(3) ICT等の学習環境・指導体制を整備し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を実施します。</p> <p>(4) 部活動・特別活動・課題研究・キャリア教育を通じて、豊かな心と健やかな体を育成する教育活動を実施します。</p>	<p>本校では、入学時に次のような生徒を求めます。</p> <p>(1) 自分自身の存在を肯定し、途中であきらめず、失敗を恐れず自分で考え、行動しようとする生徒。</p> <p>(2) 身近な課題に主体的にチャレンジし、地元で活躍したいと考えている生徒。</p> <p>(3) 商業（ビジネス）活動に関する興味・関心と意欲を持ち、粘り強く資格取得を目指し、自分の夢に向かって邁進できる生徒。</p> <p>(4) 生徒会や部活動、地域ボランティア活動などに積極的に取り組み、学校生活を活気あふれる有意義なものにしていきたいと考えている生徒。</p>

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 授業改善（主体的・対話的で深い学び）を通じた生徒の基礎学力定着
- イ 商業に関する専門性を高め、地域社会に応用・実践する力の涵養
- ウ 規範意識を高め、公共心を育む生徒指導
- エ 安心安全な学校作り
- オ 改革を意識した職務執行

### 2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	(ア)教科指導力の向上	・ICT機器を活用した「わかる授業」の実践	一台端末を効果的に使用できた生徒90%以上	教務課

様式第 1 号

		・教員相互の授業参観と評価	2 回以上の授業参観	教務課
		・到達度テストを活用した教科指導方法の改善と基礎力の向上	・学習到達度の割合が 6 割以上に達した生徒 60%以上 毎テスト後、教科担当が生徒の弱点を把握し、それに対応する取組みを行う教員が 90%以上	進路指導課
	(イ) 生徒支援を意識した授業の実践	・ユニバーサルデザインを意識した授業資料、板書の工夫	授業が分かりやすいと思う生徒 90%以上	教務課 各学年
			ユニバーサルデザインを意識した改善を 2 つ以上取り入れる。	1 年部
	(ウ) 生徒の基礎学力の定着	・スタディサプリを活用した学習の増加	・スタディサプリを活用した学習を実施した生徒が 70%以上	進路指導課
			家庭学習を週 5 日以上行っている生徒 50%以上 (R4 42%)	各学年部
			SPI 模試(2 年部：基礎、3 年部：実践) で得点率 70% 以上が 8 割	2 年部 3 年部
			・到達度テスト昨年度より向上した生徒 60%	3 年部
		・文章読解力向上を意識した読書指導と図書館を利用した学習活動	生徒一人あたりの図書貸出し冊数 1 冊以上	図書課
	イ	(ア) 商業に関する専門知識・技能の習得	・各種検定合格に向けた丁寧な学習指導	各種検定合格率の前年比 5% 向上
			各種検定合格に向けた補習の実施と年間 1 つ以上の取得をした生徒 90%以上	1 年部
(イ) 地域の資源・課題を意識した教育活動の実践		・実践的、体験的学習活動を意識した「課題研究」の見直し・改善	実践的・体験的活動を含んだ授業内容で、10 講座以上の確立	商業科
		・産官学連携による地域社会との交流機会の創出	年間 20 回以上産官学連携による地域社会との交流機会を設ける	商業科
ウ	(ア) 基本的な生活習慣の確立	・ビジネスマナー教育を通じた規律性の向上	場に応じた挨拶、身だしなみ、言葉遣い、態度に気を配ることができている生徒 90%以上	生徒指導課 進路指導課 各学年部
			不注意での遅刻ゼロ	各学年部

様式第1号

	(イ) 特別活動や部活動を通じた豊かな人間性の育成	・学校行事やHR活動、生徒会活動、部活動における生徒の主体性、協調性の育成	部活動に対し主体的に取り組んでいる生徒 80%以上	生徒指導課
			学校行事、生徒会活動、諸活動に積極的に取り組んでいる生徒 90%以上	各学年部
	(ウ) 地域社会の一員としての意識の高揚	・地域防災等の地域行事への積極的な参画	地域防災や地域行事へ参加する生徒 50%以上	総務課 各学年部
	(エ) 学校保健計画の確実な実施	・自ら体調管理を心掛け、主体的に学校教育活動に取り組む意識付け	朝の体温測定 100%、朝食摂取率 95%以上	保健課
生活リズムを整えるなど自ら体調管理を意識して生活できたと答える生徒 80%以上			全学年	
エ	(ア) 事故、いじめのない学校作り	・家庭と連携した情報モラル教育の推進	ネットパトロール検出件数前年度(年9回)より減少	生徒指導課
		・自他の命を守る通学マナーの向上	自転車安全指導カードの交付件数の減少 (R4 年度(年23回))	
	(イ) リスクマネジメントによる危機管理体制の整備	・危機管理マニュアル、帰宅困難生徒支援計画に基づいた防災備品の整備	生徒、教職員の安全を第一に考えた防災備品の整備と点検を年2回実施し、見直しをはかる。	総務課
		・定期的な施設の安全点検及び危険個所の早期把握、迅速な対応	施設の破損を原因とする生徒、教職員の事故ゼロ	事務部
オ	(ア) ワークライフバランスを意識した業務執行・改善	・部活動ガイドラインに基づいた部活動指導	部活動ガイドラインに基づいて休息日を設定している部活動 100%	生徒指導課
		・部活動の統廃合も含めた部活動ガイドラインの再検討	年2回部活動検討委員会を実施し、長期的視野に立った部活動再編計画の検討・策定を生徒とともに検討する。	
	(イ) 法令に基づいた迅速・適正な業務執行	チェックリストを活用した適正な会計事務執行	監査、検査等での指摘事項ゼロ	事務部

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、単に校訓や抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。